

表紙のことは

細矢 清二「白川郷」



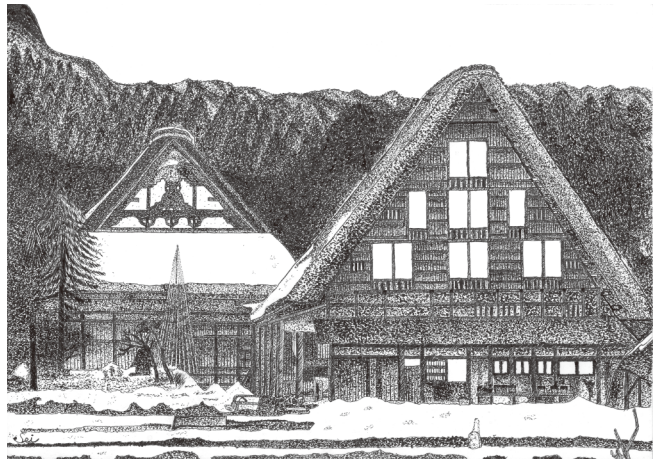
2018年にうつ病を発症、入院しました。入院生活は2年5カ月続きました。

入院患者さんの中に美大を卒業した人がおり、絵に興味があった私はその人から絵の描き方の基礎を教えていただきました。また、職員の方からデイケアに創作という活動があるけれど行ってみますかと誘っていたのが、絵を描くことに大きな影響があったと思います。

そして絵の描き方にもいろいろあることがわかり、この絵はそんな中で黒のインクを使用し、点と線のみで描いた点描画です。週に1日の作業で2カ月位かけ描きました。

入院中にコロナが発生し、私たちはデイケアとは別での活動でした。私に絵の基礎を教えてくれた人やデイケアに誘ってくれた職員の方、創作で点描画を教えていただいた先生や他の職員の方々、弟妹にも感謝に堪えません。

今は退院し週4日仕事しデイケアで週1日の創作活動を続けています。



今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



宮本 知幸「雪ふるじぞう」

今年はステップの年にしたい、そう思い、OT ジャーナルに応募しました。

自分の画力のなさに、自問自答する毎日です。同じ痛みをもっている人に、少しでも元気がわけばと思い、日々創作活動に取り組んでいる毎日です。

「今回 OT ジャーナル決まったよ」と父と母に一声かけたら、静かに「よかったね」と言われたのが感慨深いです。親孝行って何かを考えると、答えが哲学的世界に入り込みます。笑顔がみれることを造れる、環境を増やしたいと思います。絵を通じて見てくれる方々に何か考えるきっかけになればと、思います。